

11月のこよみ

第 77 号
31. 11. 1

主な記事

十一月井口村を編入

産業都市建設へ
一歩を進める

佐伯郡の旧井口村が今月一日に編入され、広島市井口町となつた。同町は人口一、八一六人、世帯数四五一世帯（以上上月末日現在、以下同じ）で面積は二、九平方分であるから、本市は人口三八〇、〇一三人、世帯数九八、三五三世帯で面積は八五、二平方分となつた。

井口村は草津町に隣接し、風光明媚で、井口海水浴場は古くから市民になじみが深く、その昔、頼山陽が詩をよんだといわれる月見が丘があり、桃、びわ、かき、のり、あさりの産地として知られ、そして本市とは早くから人事の往来、物資の交流が特にばげしかつたところである。

今後は市民生活の福利厚生、公営住宅の建設その他に相当の便益をあたえるものとみられている。

に つ づ き、産 業 都 市 の 建 設
に つ づ け、広 島 市 は 戦 災 の 復 興 再 建
に つ づ け、文 化 各 面 に お け る 発
展、特 に 生 産 圏 の 確 立 の た
め に、隣 接 町 村 の 編 入 に 特
力 を い れ て い る。
す な わ け、仁 保、三 篠、
草 津 な ど 七 か 町 村 の 編 入 以
来、二 十 六 年 ぶ り に 戸 坂 村
中 山 村 を、さ ら に 今 回 は
口 村 を 編 入 し た の で あ る
本 市 と そ の 隣 接 町 村 は



昭 号 市域拡張の推移(面積の数字は平方料)

	年	月	地 域
	明治22年	4月	市制施行区域
	"	37年10月	仁保島村字品島(元字品)
	昭和4年	4月	仁保・牛田・矢賀・三篠・己斐・草津・吉島・江波・南観音・草津その他の埋立
	昭和30年	4月	戸坂
	"	31年4月	中山
	"	11月	井口

と二十数年の間保つてきたものがあるが、その間のおが国の社会、経済、文化、交通の発達是非常に目ざましく、本市の隣接町村の住民の日常生活も、その行動範囲はそれぞれ町村の区域をこえて本市に及んでいるのである。

そこで、近代化された自治体の複雑な行政事務の円満な運営をはかり、住民の福利の増進と工、商、學、林、水産等各産業の綜合發展のために、本市を中心とする各市町村が相互協力体制をつくるように施策がすすめられていかなければならないが、この意味で戸坂、中山両村につづいて、井口村が円漕のうちに本市に編入されたことは特に喜ばしいことである。

基本選舉人名簿縱覽

11月5日から同19日まで

来年行われる各種選挙の土台となる、基本選挙人名簿は、九月十五日現在で調整を終りましたので、この縦覧を左記の通り実施いたしますから御覧下さい。若しこの名簿にもれて居りましたらただちに御申出下さい。

いまして、投票の際あてないよう御協力をお願いいたします。

たし、広島海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の縦覧もあわせて行います。

一、縦覧日時 十一月五日から十一月十九日まで

『文化の日』

十一月三日は文化の日です。昭和二十三年に「国民の祝日」が制定せられ、今年で第九回目を迎えるわけです。この日は、日本国民が自由と平和を愛し、文化を

「勤労感謝の日」

十一月二十三日は勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日です。私達は日常働くことによつて物品をつくり、生活を保障され、又文化を進展させております。

△優良勤労者並びに優良日の生存が保たれてゆく事を感謝し、文化を生み出してゆく日々を祝うもので、広島市でもこの日を中心に左記の通り各種の行事を行う予定です。

ここに勤労とは唯單に
農業とか生産労働のように
直接目に見える産業に従事
することのみでなく、物質
雇労働者の表彰（十一月
二十三日）
△日雇労働者運動会（十一
月十一日）
（労政課）

ごみ処理は申込制

切 今月二十日まで

ごみの収集手数料を一般排出者（一般家庭）から頂くことにしておりますので従来から市で収集しているもの、又は新しく収集を希望される人は、さき程各世帯に配布いたしました申込書により、又自家処理をさ

十日に一回、これを更に七日に一回と、逐次能率を向上させるよう計画を進めております。皆さんもごみの容器を整備され、道路に面した見易い場所に置いて頂くよう御協力をお願いいたします。

(衛生課)

貯蓄で繁栄への
道を固めましょう

道を固めましょう

只今国では、「国土建設郵便貯金特別増強運動」を行つてゐます。個人生活の

頭の疲れに：

毛卜共

広告宣伝の御相談は
お気軽に電話で

株式會社
電通
広島支店

電話南④四二六一—三
 広島市の場町一五二

靴
天野靴店
中国連合加盟店
クーポン歓迎

電話區
南市的
④的
五場
五電
九傳
一前

洋服のお求めは……

堀川町キリンビヤホール東隣電④二八四九

文化社
広島市 仁保町 大河
電話 3865

印 利

No.1の味は

厚生大臣賞

栄養補給に

乳菓の王

ワイズ

毛卜叢

氏は武田の残した水軍の内家)の懐柔につとめ、海上の勢力をもつてなりました。

内義隆の部将陶晴賢は

ついた広島(の)地が細かしい
脚光をあびて登場してまい
ります。

(統)

(市史編さん室)